

盛多 勝美 議員 … 2件の一般質問

双葉ダムの老朽化による整備計画は



町長：関係町村と協議し、調査に入る計画になっている



双葉ダム

盛多 双葉ダムは、昨年7月に施設上における不具合の発生によりトラブルがあり、次年度以降の利用が出来ない旨の報告があったが、その後の利用について、どう対応しているのか。

町長 双葉ダムは、倶知安土地改良区に管理委託している。不具合については、昨年9月及び12月定例議会に報告をしているが、昨年10月2日、北海道開発

局の立会いのもと詳細調査及び研磨による調整修繕を行い、今年4月中旬異常の無いことを確認した。

現在は、満水状態になっており、本年の営農には支障ない状況である。今後北海道開発局、後志総合振興局、関係町村と連携を密に適正管理に努めていく。

双葉ダムは、建設後40年経過、各処に老朽化が見られる。今後の老朽化の整備・調査は、多数の

保水施設を有する複雑な用水系統であり、今後、平成28年度から30年にかけて、国営土地改良事業の地区調査を進めることで、国また北海道開発局でも今検討されている。

旭ヶ丘公園観音像の整美は

盛多 倶知安青年会議所の会員や倶知安農業高校生、一般町民など、旭ヶ丘公園内にある観音像周辺の草刈など整美活動に取り組まれた。

現況は、降雪等のため石造も傾き、順路である遊歩道が荒地となっている。本町として、倶知安の名所の一つとしての整美はできないか。

町長 旭ヶ丘公園の33観音像は、大正12年、町内の観音講の人たちが大仏寺住職斎藤忍髓を発願主として寄進、建立された。

昭和55年には、倶知安旭ヶ丘33観音像保存会が発足し、保存にあたることになり、33体の観音像の整備は、保存会が行う

ものである。今回の倶知安青年会議所が行ったような民間の保存活動が続いていくことを望んでいる。

本町としては、公園及び保安林の遊歩道について、より一層の維持管理に努める。



旭ヶ丘公園の三十三観音像